

はじめよう!オーガニック家庭菜園ライフ!!

国産 自然農法 固定種・在来種・自然農法交配種

ナチュラルライフステーションの国産・自然農法種子

家族で食べるものだから、「種の安全」にもこだわります。

命につながる
野菜のたね

NON-GMO

遺伝子組換えではありません

美味しい!

野菜本来の甘みと風味!!

高い発芽率

病害虫にも強い!

健康な種

農薬・化学肥料なしで育成

毎年作物から種を採れば、
次の年も作物ができる!!



従来の「一代限りのF1種」とは異なり、栽培した作物から種が採れます。(自家採種)

※自然農法交配種でも自家採種が可能です。
(雄性不稔は使用していません。)

各**500円**(税込**550円**)

国産・自然農法種子 ミニトマト(ブラジルミニ)



病気に強く、盛夏を過ぎるころに味が乗ってくるので、遅時きがお勧めで、霜が降りる時期まで収穫できます。

- 蒔く時期: 4月~5月
 - 収穫時期: 7月~11月
- 約0.1mℓ 約30粒



国産・自然農法種子 小松菜(新戒青菜)

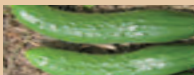


草姿半立性、やや平軸で葉色は濃緑色で照りがある。コマツナらしい風味に富み、お浸しや汁の实、雑煮の青菜として最適です。

- 蒔く時期: 3月~5月、7月~10月
 - 収穫時期: 4月~7月、9月~12月
- 約2.5mℓ 約500粒



国産・自然農法種子 きゅうり(若緑地這)



果実は、やや短く胴がくびれ、曲がりが少ない。耐暑性・耐病性が強く作りやすい。霜が降りる時期まで収穫できます。

- 蒔く時期: 6月~7月
 - 収穫時期: 8月~10月
- 約0.25mℓ 約10粒



国産・自然農法種子 甘トウガラシ



果長15cm程度で収穫する甘トウガラシ。シントウ類とピーマンとの交雑種と考えられ、果肉厚く柔らかく甘みあり。シントウと同様の利用可。

- 蒔く時期: 2月~4月
 - 収穫時期: 6月~10月
- 約0.25mℓ 約30粒



国産・自然農法種子 ニンジン(筑摩野五寸)



夏蒔きして晩秋から冬どりに適します。春蒔きは、とう立ち(花が咲く)しやすいので、初心者には夏蒔きがお勧め。

- 蒔く時期: 3~4月、7~9月
 - 収穫時期: 7~8月、10月~翌年2月
- 約5mℓ 約880粒



国産・自然農法種子 サラダ菜(エルゴ)



暑さ寒さや病気に強く、年間を通じて栽培できるサラダ菜。葉肉がクセがなく甘みがあり、食味が良い。

- 蒔く時期: 2月~6月、8月~10月
 - 収穫時期: 4月~9月、10月~12月
- 約0.5mℓ 約300粒



国産・自然農法種子 レタス(ロックウェル)



結球レタスの早生種で、草勢が強く大球になるタイプ。葉肉が厚くて食味が良く食べ応えもあります。栽培は初夏より~秋どりに適しています。

- 蒔く時期: 2月~4月、8月~10月
 - 収穫時期: 4月~7月、11月~12月
- 約0.25mℓ 約120粒



国産・自然農法種子 ルッコラ(フックラ)



ルッコラ・ロケットとも呼ばれ、ゴマの風味と辛みのあるアブラナ科のハーブ。花茎やつぼみ、花も食べられ、サラダやおひたしに最適。

- 蒔く時期: 3~6月、8~10月
 - 収穫時期: 4~7月、9月~翌年1月
- 約1mℓ 約400粒



自然農法交配種とは

味や草勢、耐病性に優れたものを選抜採種し、かけ合わせによって生まれる雑種第一代です。すべて手作業で交配、もちろん「雄性不稔」や「遺伝子組み換え技術」「ゲノム編集技術」は使用していません。

どの種子も自家採種が可能で、次世代では個々の形質は異なる可能性があります。極端に弱い株が出現することもなく、自然農法に対する適性は外れません。自家採種を継続することで地域適性の高い種子となります。自然農法交配種は自然農法農家の長年の努力と技術の結晶であり、まさに家庭菜園初心者にとり「元気でおいしく、自家採種が可能な品種の種子」だと言えます。

国産・自然農法種子 トマト 妙紅



作りやすい完熟大玉トマト。裂果に強く、玉質が硬いので完熟収穫できます。甘み・酸味のバランスが良く、コクのある食味。雨よけ、露地栽培に適しています。

- 蒔く時期: 3月~4月
 - 収穫時期: 6月~10月
- 数量限定 約0.1mℓ 約10粒



国産・自然農法種子 ナス 黒小町



高温期の果皮の退色が少なく、果形は長卵形で果皮のつやが良い。草勢強くたくさん採れ、露地栽培に向いています。

- 蒔く時期: 2月~4月
 - 収穫時期: 6月~10月
- 数量限定 約0.1mℓ 約15粒



国産・自然農法種子 キュウリ パテシス3号



露地の早蒔きから普通蒔きに適します。着果が良く生育旺盛、病気に強く、丈夫で育てやすい。果実はやや長めで尻太りが少なく果摘いもよい品種です。

- 蒔く時期: 3月~6月、6月~7月
 - 収穫時期: 6月~10月、8~11月
- 数量限定 約0.25mℓ 約10粒



国産・自然農法種子 ミニトマト チャコ



果色が濃く甘いミニトマト。裂果に強くプランター栽培から露地栽培まで幅広く適する品種です。1房に10~20の果実が鈴なりになります。

- 蒔く時期: 3月~4月
 - 収穫時期: 6月~10月
- 数量限定 約0.1mℓ 約10粒



国産・自然農法種子とは

農薬や化学肥料に頼らず、生命を生き、自然の動きを引き出し、持続的な生産を行うことを目的とした「自然農法」で栽培された野菜から取れた種子です。自家採種をする農家が減少する今日、日本国内で育種された非常に貴重な種子です。(育成地:長野県)

無農薬・有機栽培に適したタネ

家庭菜園でも、農薬や化学肥料に頼らず「無農薬・有機栽培」を実践するには「元気でおいしい、自家採種が可能な品種の種子」が必要です。自然の摂理に沿って健全に元気に強く育った、「国産・自然農法種子」や「有機種子」「固定種」「在来種」「自然農法交配種」は、まさに「無農薬・有機栽培に適した種子」といえます。

*本チラシ掲載の「●蒔く時期」「●収穫時期」は寒冷地~暖地までを含んだ情報を掲載しております。商品/パッケージ掲載の情報(温暖地、暖地)とは差異があります。

野菜を育てることで植物の旬や四季を感じることは、子供の情操教育上たいへん良いといわれています。

※情操教育とは、感情や情緒を育み、創造的で、個性的な心の動きを豊かにするための教育、および道徳的な意識や価値観を養うことを目的とした教育の総称です。

自然農法とは

国産・自然農法種子と家庭菜園がもたらすもの…。



NPO法人 瀬戸内海環境会議 事務局長 村瀬 道幸

ひとが生きていくためにもっとも大切な「教養」とは、何といても「健康な野菜をつくれる」ことだと思います。

たとえ畑がなくともプランター栽培でもそれは実現可能です。しかし、そのためには「生命の継続性」がある国産・自然農法種子は欠かすことができません。

自然の恵み(太陽、水、土、微生物)に感謝し、作物に愛情を注ぎ、自然に順応した「農業や化学肥料に頼らない栽培」によって、はじめて誰でもおいしく栄養価の高い「健康な野菜」をつくることができます。

国産・自然農法種子は自然環境(温度、水、日照)に即して生育する特徴があります。2年、3年と栽培を重ねることで、その土地・風土にあった生命力のある、その土地ならではの作物に育ちます。それがまさに「国産・自然農法種子の魅力」でもあります。

みなさんもこうした「オーガニック家庭菜園」を家族と一緒にすることで、豊かなライフスタイルを楽しんでみましょう。そして「健康な野菜をつくれる」になれば、それは『家庭菜園によって、人を思いやる幸せな家庭を耕すこと』になるでしょう!それが『生きる教養』なのです。

ナチュラルライフ ステーションの国産・自然農法種子は、NPO法人瀬戸内海環境会議よりご紹介いただきました。

化学肥料や農薬に依存しない「自然農法」では、「大自然を尊重し、その摂理を規範に順応する」「生きている土の偉大な能力を発揮させる」ことを理念と原理としています。

つまり「自然農法」は、「農薬や化学肥料に頼らず」「生命を生かし」「自然の働きを引き出し」「永続的な生産を行う」ことを目的とした農法です。

化学肥料や農薬を使用しなければ農業が成立しないと信じられていた時代にあっても、理念に共鳴する人々によって実践され、受け継がれてきました。

そして今日、食品の安全性と環境保全を求める声が高まってきており、こうした状況の中で自然農法の果たす役割が世界中で高く評価されています。

緑肥を利用した草生栽培で大地の力だけをたっぷり注いだ強くて安全な種です!!



育種用の野菜を栽培している広大な圃場は、基本的には施肥は行わず無肥料・草生栽培です。草生栽培は、例えば春では「夏作の畝(育種)」|「緑肥(クローバー、ペレニアルグラスの草生)」|「秋作の畝」「緑肥」と、圃場の半分は「緑肥」を栽培し、作物の作付け面積は1度の育種時期に全面積の1/4しか使用していません。

緑肥との競合にも負けない強い品種を育成するための「地力」を活かした環境で、育種されています。

草生栽培とは



草を刈って地面の上にどんどん被覆(敷草)をすることで、その土壌改良能力を活用する栽培方法。すべては土壌生物による作用です。

緑肥や雑草と競争のある草生栽培は、まさに「地力」を活かした栽培方法といえます。

緑肥とは



栽培している植物(草など)を、収穫せずそのまま畑にすきこみ、植物と土を一緒にして耕し堆肥にすること。「水はけ」「保水力」向上、土壌中の微生物の繁殖促進、微生物間バランス改善による病害虫の発生予防などが期待されます。

こちらで作られています

自然農法国際研究開発センター
(長野県松本市)



レタスの苗



自然農法で種の育種を目的に野菜を栽培、自家採種を行い、種の普及に携わっています。自然農法センターの他事業所では有機農業の認定、試験圃場で野菜栽培も行っています。

お問合せ

袋詰めは、「社会福祉法人 大阪府家内労働センター JOIN(じょいん)」にお願いしています。

私たちは、地球と障がい者の方々への働く環境を考えています。この事業で障がい者の方が、少しでも自立した日常生活を営めるように協力・支援をしております。



※種子の性質上、種蒔き後の結果については、お買上げ代金の補償は致しませんのでご了承ください。
※天候や収穫量により、予告なく容量や粒数の変更あるいは販売休止をする場合があります。
※パッケージデザインは変更になる場合があります。※掲載写真はイメージです。※掲載情報は2024年1月現在のものです。